［募集代理店］ 三井住友信託銀行株式会社

NEWアダージオα

変額個人年金保険Ⅱ型2003

＜20年運用コース＞

特別勘定の月次運用レポート
2026年10月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

この保険の投資リスクと手数料について

＜投資リスク＞

● 変額個人年金保険の一時払保険料の運用は特別勘定で行われ、特別勘定資産の運用実績に基づいて将来の年金額、死亡保険金額、積立金額および解約払戻金額が変動（増減）します。特別勘定が投資する投資信託は、国内外の株式・公社債等で運用されており、運用実績が死亡保険金額や積立金額・将来の年金額等の増減につながります。このため、株価や債券価格の下落、為替 の変動等により積立金額やお受け取りになる年金総額や解約払戻金額の合計額等が一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。これらのリスクは、すべてご契約者に帰属します。

● 変額個人年金保険は生命保険商品であり、預金ではありません。また、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。

● 解約・一部解約（特別引出を除く）をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ることがあります。

＜手　数　料＞

● 保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、積立金額に対して年率2.37%の割合で積立金額から毎日控除されます。

● 運用関係費用：特別勘定の運用に関わる費用です。主に特別勘定が投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.463%（税抜年率1.33%）程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。

● 年 金 管 理 費：年金支払の管理に関わる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。将来変更される可能性があります。

● 解　約　控　除：ご契約日（増額部分については増額日）からその日を含めて7年未満の解約・一部解約（特別引出を除く）については、解約控除対象額※に、経過年数に応じて所定の解約控除率（7%～1%）を乗じた額が積立金額または一部解約請求金額から控除されます。

※ 解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求金額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

■ この商品にかかる手数料の合計額は、「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計額となります。また、特定のご契約者には「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

［引受保険会社］ オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

（管）ORI-085

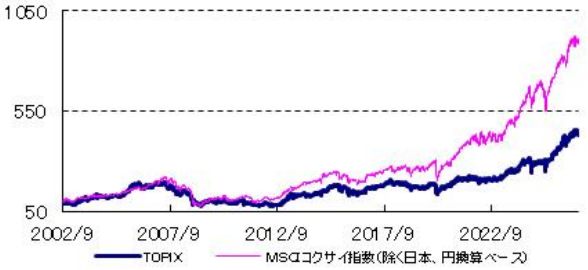
市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.19%	▲ 1.67%	6.76%	20.76%	105.10%
	TOPIX（東証株価指数）	▲ 3.49%	▲ 0.95%	6.38%	19.01%	75.93%
日本債券	NOMURA－BPI総合	1.76%	0.48%	▲ 0.65%	▲ 5.23%	▲ 9.22%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	0.78%	0.33%	5.24%	14.87%	89.25%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	1.34%	▲ 2.02%	▲ 2.81%	1.80%	22.57%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.12%	▲ 1.98%	▲ 1.78%	2.23%	5.37%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

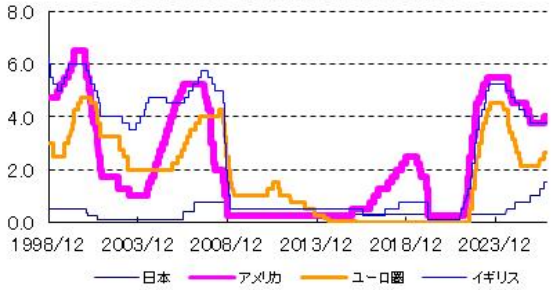


＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定（ファンド）グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)**		資産合計
	株　式		債　券				投資信託	現預金その他	（百万円）
	日本	外国	日本	外国					
日本株式バリューファンド DW	●				ダイワ・バリュー株・オープンVA2（愛称：底力VA2）＊	大和アセットマネジメント株式会社	95.9%	4.1%	93
日本株式インデックスファンド CM	●				日本株式インデックスファンドVA＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	97.8%	2.2%	17
世界株式ファンド FIE	●	●			フィデリティ・グローバル・ファンドVA5＊	フィデリティ投信株式会社	96.5%	3.5%	257
世界株式インデックスファンド CM		●			外国株式インデックスファンドVA＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	97.8%	2.2%	21
世界債券ファンド KAX			●	●	グローバル・ソブリン・オープン　VA2＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	0.0%	0.0%	0
外国債券インデックスファンド CM				●	外国債券インデックスファンドVA＊	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	96.2%	3.8%	10
マネーファンド MB			●		三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	141

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。
**資産配分比率は、基準日時点での申込ベースの値です。組入投資信託の運用レポートに記載された純資産総額は、基準日時点での設定ベースの値です。

投資信託の運用方針

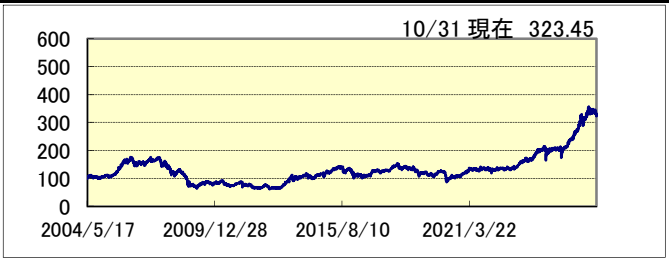
主な投資対象の投資信託	運用方針
ダイワ・バリュー株・オープンVA2（愛称：底力VA2）＊	主に日本の上場株式に投資し、現在の株価が割安と判断される銘柄を選定することによって、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）を上回る投資成果を目指します。
日本株式インデックスファンドVA＊	「日本株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）と連動する投資成果を目標として運用を行います。
フィデリティ・グローバル・ファンドVA5＊	市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド（円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
外国株式インデックスファンドVA＊	「外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）と連動する投資成果を目標として運用を行います。
グローバル・ソブリン・オープン　VA2＊	主に世界主要国のソブリン債券に分散投資し、FTSE世界国債インデックス(含む日本、円ベース)を中長期的に上回る投資成果をあげることを目指します。
外国債券インデックスファンドVA＊	「外国債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし･円ベース）と連動する投資成果を目標として運用を行います。
三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

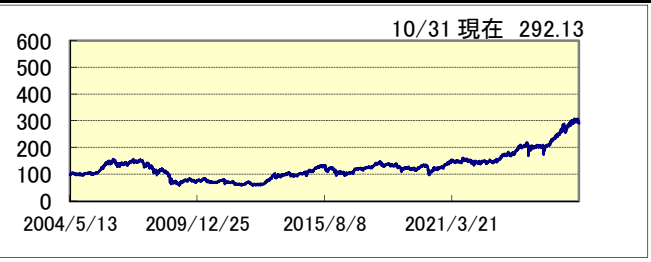
特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式バリューファンド DW



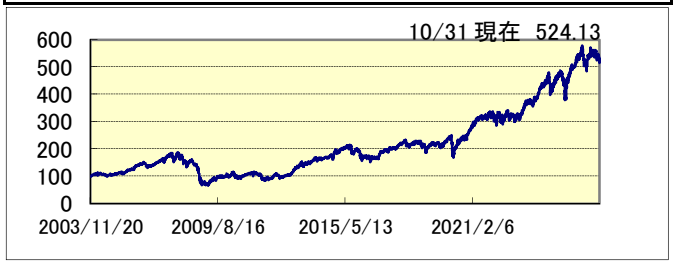
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−5.64%	−3.72%	3.26%	23.66%	97.84%	223.45%

日本株式インデックスファンド CM



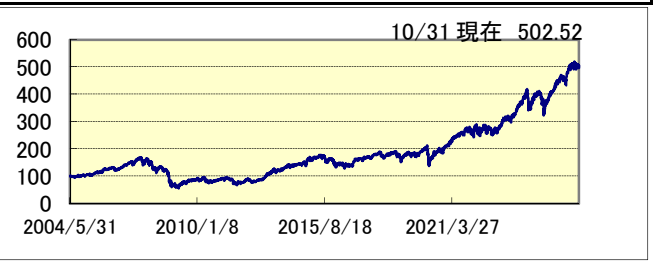
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−3.64%	−0.77%	5.76%	17.70%	70.72%	192.13%

世界株式ファンド FIE



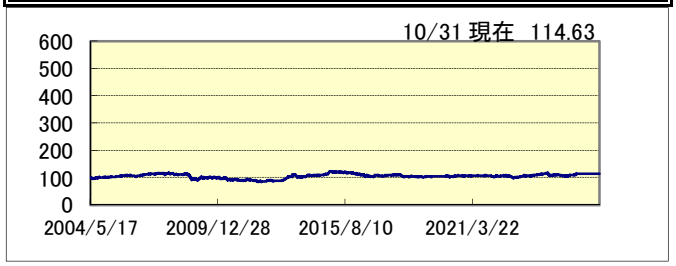
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−2.28%	−2.81%	−3.37%	−3.49%	45.97%	424.13%

世界株式インデックスファンド CM



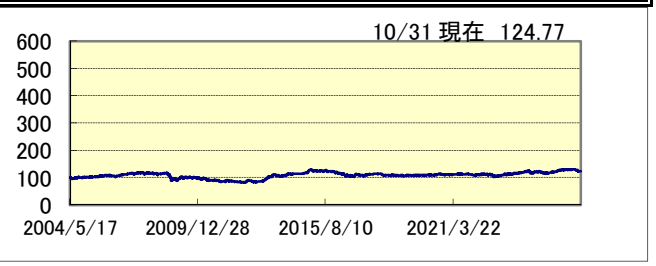
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.62%	−0.15%	4.57%	12.95%	67.92%	402.52%

世界債券ファンド KAX



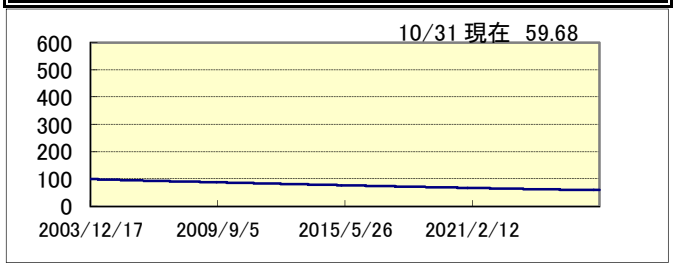
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	8.39%	14.63%

外国債券インデックスファンド CM



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.11%	−3.62%	−4.80%	−1.57%	10.90%	24.77%

マネーファンド MB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−0.11%	−0.37%	−0.80%	−1.70%	−5.88%	−40.32%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式バリューファンド DW

【特別勘定が投資する投資信託】
適格機関投資家専用・ダイワ・バリュー株・オープンVA2（愛称：底力VA2）

【運用会社】
大和アセットマネジメント株式会社

主要投資対象
日本の上場株式。主にダイワ・バリュー株・オープン・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
主に日本の上場株式に投資し、現在の株価が割安と判断される銘柄を選定することによって、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を上回る投資成果を目指します。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

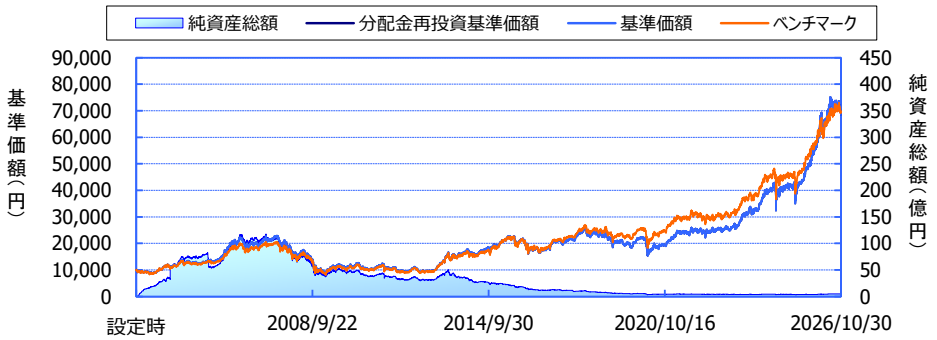
2026年10月30日時点

基準価額	68,557円
純資産総額	4.39億円

期間別騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1カ月間	−5.7 %	−3.5 %
3カ月間	−3.3 %	−0.0 %
6カ月間	+4.4 %	+7.5 %
1年間	+27.5 %	+21.7 %
3年間	+116.9 %	+88.8 %
5年間	+175.8 %	+123.9 %
年初来	+21.5 %	+18.8 %
設定来	+585.6 %	+592.1 %

当初設定日（2002年9月24日）～2026年10月30日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しております。
※当ファンドは東証株価指数（TOPIX）（配当込み）をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。
※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

≪分配の推移≫

（1万口当たり、税引前）

決算期（年.月）		分配金
第1～18期	合計:	0円
第19期	(21.03)	0円
第20期	(22.03)	0円
第21期	(23.03)	0円
第22期	(24.03)	0円
第23期	(25.03)	0円
第24期	(26.03)	0円
分配金合計額		設定来：0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成

資産	銘柄数	比率
国内株式	118	97.7%
国内株式先物	1	0.6%
不動産投資信託等	---	---
コール・ローン、その他		2.3%
合計	119	---

国内株式 市場・上場別構成 合計97.7%

東証プライム市場	97.2%
東証スタンダード市場	0.1%
東証グロース市場	0.3%
地方市場・その他	---

国内株式 業種別構成 合計97.7%

東証33業種名	比率
銀行業	16.2%
電気機器	12.6%
機械	8.8%
卸売業	8.2%
情報・通信業	7.2%
輸送用機器	7.0%
化学	5.5%
保険業	5.5%
食料品	4.0%
その他	22.6%

組入上位10銘柄 合計31.2%

銘柄名	東証33業種名	比率
三井住友フィナンシャルG	銀行業	5.0%
三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	4.9%
トヨタ自動車	輸送用機器	3.7%
小松製作所	機械	3.2%
東京海上HD	保険業	3.2%
キオクシアホールディングス	電気機器	2.5%
三菱商事	卸売業	2.4%
第一ライフグループ	保険業	2.3%
三井住友トラストグルー	銀行業	2.1%
ソフトバンク	情報・通信業	2.0%

ファンドマネージャーのコメント

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【株式市況】 10月の国内株式市場は下落しました。AI・半導体関連銘柄を中心に上昇して始まりましたが、月半ばに米コアウィーブの信用不安が表面化し、AI・半導体関連銘柄を中心に下落しました。その後もAI投資の持続性に対する懸念が燻る中、同関連銘柄の株価は一進一退の展開となったほか、景気減速への警戒感から景気敏感株にも売りが広がり、月末にかけて軟調に推移しました。
【運用経過】 ポートフォリオの構築に際しては、中東情勢を受けた外部環境のリスクの変化や日米の政策動向を勘案しつつ、今後の業績回復や好調な業績の持続性などに注目して銘柄を入れ替えました。また、自己株式の取得や配当金の増額などの株主還元を通じて、資本効率の改善が期待される銘柄に注目しました。具体的には、中期的な収益の拡大を見込んだゲーム関連株や、事業構造改革の進展や収益性の改善に注目した化学関連株、賃貸事業の収益動向や資産価値を評価した不動産関連株などのウエートを引き上げました。一方で、業績拡大や資本政策への期待が株価に一定程度織り込まれたと判断した通信関連株や、株価上昇により割安感が低下した金融関連株、精密機器関連株などのウエートを引き下げました。このような売買や株価変動により、業種構成では卸売業、化学、情報・通信業などの比率が上昇し、電気機器、銀行業、機械などの比率が低下しました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式インデックスファンド CM

【特別勘定が投資する投資信託】
日本株式インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象
日本の株式。主に、「日本株式マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
「日本株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、TOPIX（東証株価指数）（配当込み）と連動する投資成果を目標として運用を行います。

作成基準日：2026年10月30日

基準価額の推移



※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。
※ベンチマークは当初10,000として指数化しております。
※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

設定来分配金合計　110 円
（10,000口あたり、課税前）

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	62,763円	−2,295円
解約価額	62,763円	−2,295円
純資産総額	2,096百万円	−95百万円

※ 純資産総額は、百万円未満四捨五入。

基準価額の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	−3.53%	−0.17%	7.26%	21.07%	85.80%	117.97%	532.40%
ベンチマーク	−3.48%	−0.04%	7.54%	21.71%	88.79%	123.93%	609.42%
差	−0.05%	−0.13%	−0.29%	−0.64%	−2.99%	−5.95%	−77.02%

※ファンドの騰落率は、分配金（課税前）を分配時に再投資したものとみなして修正した基準価額を基に算出しています。

ファンド設定日：　2002年9月25日

信託財産（マザーファンド）の構成

●資産構成比

株　式　比　率	100.0%
うち現物	97.9%
うち先物	2.1%
コール・その他	2.1%

※対純資産総額比

●組入銘柄数　1,654銘柄

●ベンチマーク
TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

(注)TOPIX（東証株価指数）とは、株式会社ＪＰＸ総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。
TOPIX（東証株価指数）（配当込み）（以下、「配当込みＴＯＰＩＸ」という。）の指数値及び配当込みＴＯＰＩＸに係る標章又は商標は、株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など配当込みＴＯＰＩＸに関するすべての権利・ノウハウ及び配当込みＴＯＰＩＸに係る標章又は商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、配当込みＴＯＰＩＸの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、ＪＰＸにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもＪＰＸは責任を負いません。

組入上位10業種（マザーファンド）

	業　種	比率※	TOPIX構成比
1	電気機器	20.07%	20.06%
2	銀行業	11.96%	11.96%
3	卸売業	7.67%	7.68%
4	情報・通信業	6.37%	6.36%
5	機械	5.28%	5.28%
6	輸送用機器	5.17%	5.16%
7	サービス業	4.87%	4.86%
8	化学	4.57%	4.57%
9	小売業	3.98%	3.99%
10	保険業	3.82%	3.82%

※東証33業種ベース　※対現物株式評価額比

組入上位20銘柄（マザーファンド）

	銘柄	比率※		銘柄	比率※
1	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	3.69%	11	三菱商事	1.49%
2	トヨタ自動車	2.60%	12	ソフトバンクグループ	1.48%
3	リクルートホールディングス	2.55%	13	キーエンス	1.47%
4	三井住友フィナンシャルグループ	2.37%	14	伊藤忠商事	1.42%
5	ソニーグループ	2.28%	15	三井物産	1.29%
6	日立製作所	2.23%	16	三菱重工業	1.11%
7	アドバンテスト	1.97%	17	武田薬品工業	1.03%
8	みずほフィナンシャルグループ	1.83%	18	村田製作所	0.96%
9	東京エレクトロン	1.72%	19	任天堂	0.96%
10	東京海上ホールディングス	1.52%	20	キオクシアホールディングス	0.93%

※対純資産総額比

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界株式ファンド FIE

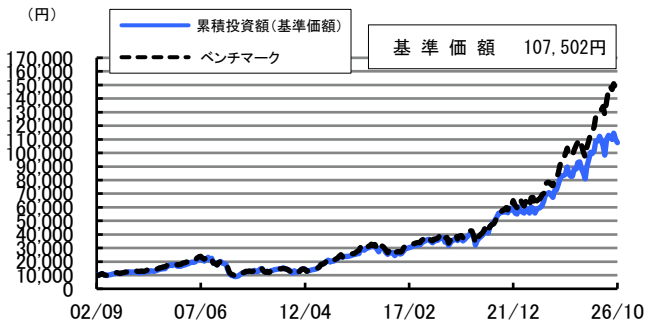
【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・グローバル・ファンドVA5（適格機関投資家専用）

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式。主にフィデリティ・グローバル・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIワールド（円ベース）を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

設定来の運用実績　（2026年10月30日現在）



（設定時）

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン　（2026年10月30日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	−2.16%	−2.28%	−2.34%	−1.07%	59.61%	975.02%
ベンチマーク	−0.53%	−0.44%	5.65%	15.04%	92.55%	1360.69%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：MSCIワールド・インデックス（税引前配当金込／円ベース）
＊ MSCI ワールド・インデックスとは、MSCI Inc.が算出する、世界主要国の株式市場の動きを示す指数です。MSCI ワールド・インデックスに関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。
＊MSCI ワールド・インデックス(税引前配当金込/円ベース)は、WM Reutersが発表する換算レートをもとに委託会社が算出しています。

過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円
第 22期(2023.11.30)	0円
第 23期(2024.12.02)	0円
第 24期(2025.12.01)	0円

コメント　（2026年10月30日現在）

世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で−0.74%。
【米国株式】月間騰落率は、S&P500種指数が−0.93%、ダウ工業株30種平均は+1.70%、ナスダック指数は−5.30%。米国株式は下落しました。AI関連株の調整などを背景に、株価は下落しました。上旬は、雇用統計を受けて追加利上げ観測が後退したことなどから上昇したものの、AI関連企業の成長性を巡る懸念から、半導体株を中心に上値の重い展開となりました。中旬は、インフレ指標の加速や原油価格の上昇に加え、AI関連企業の資金調達への懸念が重しとなり、テクノロジー株を中心に下落しました。下旬は、AI関連株への買い戻しから一時反発したものの、主要テクノロジー企業の決算発表後に売りが強まり、月末にかけて下落しました。月間では、ディフェンシブ性の高い銘柄群が上昇した一方で、AI関連株や大型ハイテク株は相対的に軟調であったことが指数を押し下げました。
【欧州株式】MSCIヨーロッパ・インデックスの月間騰落率は+0.87%。月上旬は、原油や天然ガスの先物価格が上昇したことやフランスの財政懸念の高まりを背景に欧州各国での金利上昇が嫌気され、市場は下落しました。イラン情勢を巡る不透明感の高まりも市場の重しとなりました。月中旬は、AIや半導体関連株への不透明感が高まる中、ヘルスケアや生活必需品などディフェンシブ株が物色されました。長期金利が低下したことやドイツとフランスでEUの欧州製電気自動車の優遇措置案で合意したことが好感され、市場は上昇しました。月下旬は、原油先物の上昇やフランスを巡る不透明感を受けて下落する場面がありました。しかしその後、ドイツの企業景況感指数が上振れしたことや市場予想を上回る決算を発表した企業が物色され、市場は堅調に推移しました。
【アジア株式】MSCI AC アジア・イースト・インデックス（除く日本）の月間騰落率は−9.01%。原油高によるインフレ懸念に加え、AI関連株への先行き不透明感が強まり、株価は下落しました。
【日本株式】TOPIX（配当込）は−3.48%。当月の東京株式市場は、人工知能（AI）のインフラ投資を巡る資金調達やその持続性に対する懸念を背景としてAI・半導体関連株が調整したことを受け、下落しました。
米半導体メモリ大手の好決算や、米労働市場の減速を受けて米利上げ観測が後退したことを支えとして上昇して始まりました。しかし、それまで上昇していたAI・半導体関連株を中心に利益確定売りが広がると、世界的なインフレ懸念を背景とした金利先高観に加え、米AI向けクラウドサービス企業の社債価格急落を契機としてAI投資減速への懸念が高まり、月半ばにかけて株価は急落しました。その後も、AI関連企業による巨額のインフラ投資計画を受けて、関連企業の財務に対する懸念が高まったことも下押し圧力となり、続落しました。米AI新興企業が新規株式公開（IPO）に向けて公表した上場申請書類で収益性の改善が示されたほか、米連邦公開市場委員会（FOMC）で金利が据え置かれたことも安心材料となり反発する場面もあったものの、米AI関連企業の決算発表を受けてAIインフラ投資の持続性に対する懸念が再燃し、月末に再び下落しました。
【為替】米ドル／円相場は、約0.22%の円安（1米ドル＝157.14円→157.49円）。
ユーロ／円相場は、約1.50%の円高（1ユーロ＝178.48円→175.8円）。
（※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。）

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンド、およびベンチマークの動向と異なる場合があります。

純資産総額	2.5 億円	（2026年10月30日現在）

組入上位10銘柄　（ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ・ﾍﾞｰｽ）　（2026年9月30日現在）

	銘 柄	国・地域※	業 種	比率
1	マイクロソフト	アメリカ	ｿﾌﾄｳｪｱ・ｻｰﾋﾞｽ	6.8%
2	台湾積体電路製造（TSMC）	台湾	半導体・半導体製造装置	6.1%
3	アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・ｻｰﾋﾞｽ流通・小売り	5.8%
4	エヌビディア	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.3%
5	アルファベット（クラスA）	アメリカ	ﾒﾃﾞｨｱ・娯楽	5.0%
6	メタ・プラットフォームズ	アメリカ	ﾒﾃﾞｨｱ・娯楽	3.1%
7	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	アメリカ	銀行	3.0%
8	SKハイニックス	韓国	半導体・半導体製造装置	2.9%
9	アップル	アメリカ	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾊｰﾄﾞｳｪｱおよび機器	2.7%
10	ダナハー	アメリカ	医薬品・ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ・ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	2.4%

（ 組入銘柄数 ： 57 ）　上位10銘柄合計　43.2%

（対純資産総額比率）

※発行国・地域を表示しています。
※上記銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。
実際の発行体名と異なる場合があります。

ポートフォリオの状況　（ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ・ﾍﾞｰｽ）　（2026年9月30日現在）

資産別組入状況

株式（実質）		99.3%
	うち現物	99.3%
	うち先物	−
投資信託・投資証券		0.3%
現金・その他		0.4%

組入上位5業種

半導体・半導体製造装置	20.8%
メディア・娯楽	9.5%
資本財	9.3%
銀行	8.1%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.8%

組入上位5ヶ国・地域

アメリカ	56.5%
オランダ	6.4%
台湾	6.1%
イギリス	5.0%
フランス	3.6%

※国・地域は発行国・地域を表示しています。
（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種はMSCI/S&P GICS※に準じて表示しています。
※MSCI/S&P GICSとは、ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ&ﾌﾟｱｰｽﾞがMSCI Inc.と共同で作成した世界産業分類基準（Global Industry Classification Standard =GICS）です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界株式インデックスファンド CM

【特別勘定が投資する投資信託】
外国株式インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を除く世界の主要国の株式等 。主に、「外国株式マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

「外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行います。

作成基準日: 2026年10月30日

基準価額の推移



※お客様本位でわかりやすい情報開示を行うために、2023年6月末基準より、株式を投資対象とするファンドの設定来からのベンチマークおよび参考指数を、ファンドの運用成果により近い「配当込み指数」に統一しました。
※ベンチマークは当初10,000として指数化しております。
※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

設定来分配金合計　150 円
(10,000口あたり、課税前)

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	125,993円	+1,046円
解約価額	125,993円	+1,046円
純資産総額	1,925百万円	-7百万円

※ 純資産総額は、百万円未満四捨五入。

基準価額の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	0.84%	0.46%	5.64%	15.68%	94.06%	126.88%	1170.79%
ベンチマーク	0.85%	0.65%	6.03%	16.68%	99.36%	137.49%	1528.26%
差	-0.02%	-0.19%	-0.39%	-1.00%	-5.30%	-10.61%	-357.47%

※ファンドの騰落率は、分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして修正した基準価額を基に算出しています。

ファンド設定日:　2002年9月25日

●ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

※MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した指数です。「円換算ベース」は、米ドルベース指数をもとに、当社が独自に円換算した指数です。
MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.はMSCIコクサイ・インデックスの内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

(注1)ベンチマークの騰落率は、ファンドの評価と基準を同一にするため、基準価額を算出する前営業日のMSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)を基に計算されたものです。
(注2)ファンドの基準価額を算出する際の為替レートは資産運用業協会所定のものを使用しています。

信託財産(マザーファンド)の構成

●資産構成比

株　式　比　率	100.0%
うち現物	97.3%
うち先物	2.7%
コール・その他	2.7%

※対純資産総額比

●組入銘柄数　1,083銘柄

組入上位10ヵ国(マザーファンド)

	国	比率※	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ構成比
1	米国	77.72%	77.18%
2	英国	3.66%	3.73%
3	カナダ	3.65%	3.65%
4	スイス	2.44%	2.48%
5	フランス	2.30%	2.35%
6	ドイツ	2.21%	2.23%
7	オーストラリア	1.66%	1.70%
8	オランダ	1.36%	1.39%
9	スペイン	0.95%	0.95%
10	イタリア	0.79%	0.79%

※対現物株式評価額比
注)資料中、株式には投資信託等を含めております。

組入上位10銘柄(マザーファンド)

	銘　柄	国	比　率
1	APPLE INC	米国	5.81%
2	NVIDIA CORP	米国	5.57%
3	MICROSOFT CORP	米国	4.24%
4	AMAZON.COM	米国	2.67%
5	ALPHABET INC-CL A	米国	1.89%
6	BROADCOM INC	米国	1.77%
7	META PLATFORMS INC-CLASS A	米国	1.55%
8	ALPHABET INC-CL C	米国	1.50%
9	TESLA INC	米国	1.31%
10	ELI LILLY & CO	米国	1.25%

※対純資産総額比

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界債券ファンド KAX

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバル・ソブリン・オープン VA2（適格機関投資家専用）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

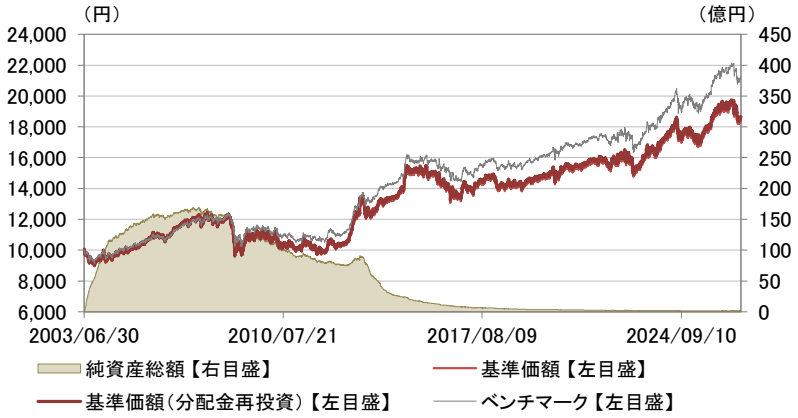
主要投資対象

日本を含む世界各国のソブリン債券（各国政府や政府機関が発行する債券）。主にグローバル・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に世界主要国のソブリン債券に分散投資し、FTSE世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）を中長期的に上回る投資成果をあげることをめざします。

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）です。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	18,444円
前月末比	+261円
純資産総額	1.93億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第23期	2026/02/17	0円
第22期	2025/02/17	0円
第21期	2024/02/19	0円
第20期	2023/02/17	0円
第19期	2022/02/17	0円
第18期	2021/02/17	0円
設定来累計		120円

■資産構成

	比率
債券	95.6%
内　現物	95.6%
内　先物	0.0%
コールローン他	4.4%

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.4%	−3.9%	−4.3%	−0.9%	14.7%	86.4%
ベンチマーク	1.4%	−1.8%	−2.7%	1.0%	18.4%	112.1%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■ポートフォリオ特性

	当月末	ベンチマーク
最終利回り	4.3%	4.2%
デュレーション	6.4	6.3
平均残存年数	8.7年	9.2年

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 98銘柄

	銘柄	通貨	クーポン	残存年数	比率
1	アメリカ国債	米ドル	3.1250%	17.8年	3.6%
2	スペイン国債	ユーロ	3.5500%	7.0年	3.3%
3	アメリカ国債	米ドル	4.1250%	26.8年	3.2%
4	フランス国債	ユーロ	2.0000%	6.1年	3.2%
5	アメリカ国債	米ドル	4.2500%	8.8年	3.1%
6	スペイン国債	ユーロ	3.4000%	10.0年	2.4%
7	スウェーデン国債	スウェーデンクローナ	0.7500%	1.5年	2.4%
8	ノルウェー国債	ノルウェークローネ	1.7500%	2.9年	2.2%
9	英国国債	英ポンド	3.2500%	6.3年	2.2%
10	アメリカ国債	米ドル	3.8750%	6.8年	2.1%

■組入通貨

	通貨	比率
1	米ドル	35.1%
2	ユーロ	22.2%
3	英ポンド	8.5%
4	日本円	6.3%
	その他	27.9%

・為替予約等を含めた実質的な比率です。

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
3年未満	23.5%
3～5年	10.0%
5～7年	18.7%
7～10年	24.7%
10年以上	23.1%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・騰落率は年率換算していません。ベンチマークは基準価額との関連を考慮して、前営業日の値を用いています。・FTSE世界国債インデックス（円ベース、日本を含む）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。・上記のベンチマークは、FTSE世界国債インデックス・データ（出所:Bloomberg）に基づき、設定日（2003年6月30日）の値を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指数化し計算したものです。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券インデックスファンド CM

【特別勘定が投資する投資信託】
外国債券インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

主要投資対象

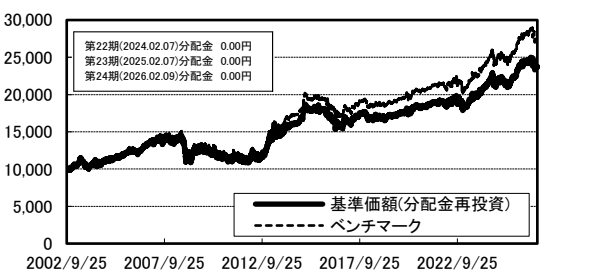
日本を除く世界の主要国の公社債。主に、「外国債券マザーファンド」受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針

「外国債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行います。

作成基準日：　2026年10月30日

基準価額の推移



※ベンチマークは当初10,000として指数化しております。
※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

設定来分配金合計　　80 円
(10,000口あたり、課税前)

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	23,647円	+317円
解約価額	23,647円	+317円
純資産総額	717百万円	+10百万円

※ 純資産総額は、百万円未満四捨五入。

基準価額の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	1.36%	-3.18%	-3.29%	1.10%	19.85%	23.84%	137.75%
ベンチマーク	1.34%	-2.02%	-2.81%	1.80%	22.57%	28.03%	176.13%
差	0.02%	-1.15%	-0.48%	-0.70%	-2.72%	-4.19%	-38.38%

※ファンドの騰落率は、分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして修正した基準価額を基に算出しています。

ファンド設定日：　2002年9月25日

●ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス
(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

※ FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏又は遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注1) ベンチマークの騰落率は、ファンドの評価と基準を同一にするため、基準価額を算出する前営業日のFTSE世界国債インデックスに基づき計算されたものです。

(注2) ファンドの基準価額を算出する際の為替レートは資産運用業協会所定のものを使用していますが、ベンチマークの為替レートは WMR Closing Spot Rates(対USドル)を使用しています。

信託財産（マザーファンド）の構成

● 資産構成比

外　国　債　券	99.4%
うち現物	99.1%
うち先物	0.3%
コール・その他	0.9%

※対純資産総額比

● 組入銘柄数　　1,007銘柄

● 修正デュレーション　　ファンド　　6.01
ベンチマーク　　6.08

組入上位10ヵ国（マザーファンド）

	国	比率※	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ構成比
1	米国	44.87%	44.55%
2	中国	13.30%	13.45%
3	フランス	6.56%	6.35%
4	イタリア	5.98%	5.92%
5	英国	5.78%	5.84%
6	ドイツ	5.41%	5.36%
7	スペイン	3.97%	3.95%
8	カナダ	2.12%	2.16%
9	韓国	1.90%	2.25%
10	ベルギー	1.36%	1.33%

※組入債券を100としたときの構成比

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘　　柄	クーポン	償還日	比率※
1	米国国債	2.750%	2032/8/15	0.80%
2	米国国債	3.750%	2030/6/30	0.66%
3	米国国債	0.625%	2030/8/15	0.64%
4	米国国債	4.250%	2035/5/15	0.58%
5	米国国債	4.125%	2028/7/31	0.58%
6	中国国債	1.830%	2035/8/25	0.55%
7	米国国債	0.500%	2027/10/31	0.53%
8	米国国債	0.625%	2030/5/15	0.53%
9	米国国債	4.500%	2033/11/15	0.51%
10	米国国債	1.250%	2028/4/30	0.51%

※組入債券を100としたときの構成比

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネーファンド MB

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ　MRF（マネー・リザーブ・ファンド）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

運　用　方　針

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。
外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

2026年10月30日現在

■資産構成

	評価金額（円）	比率
公社債	17,068,447,564	2.8%
（うち固定債）	(17,068,447,564)	2.8%
（うち変動利付債）	(0)	0.0%
短期金融資産	603,982,016,488	97.9%
（うちコールローン）	(276,422,000,000)	44.8%
（うちCD）	(0)	0.0%
（うちCP）	(0)	0.0%
（うち現先・レポ）	(327,560,016,488)	53.1%
（うち割引手形）	(0)	0.0%
その他資産	-3,889,781,085	-0.6%
純資産総額	617,160,682,967	100.0%

・固定債：変動利付債以外の債券。

■基準価額および純資産総額

基準価額	10,000円
純資産総額	6,171.61億円

■ポートフォリオ特性

平均残存日数	4.5日

■国内（邦貨建）公社債（新株予約権付社債（転換社債）を除く）明細表

	額面金額（円）	評価金額（円）	残存期間別比率			
			1年未満	1年以上	2年以上	5年以上
国債	17,100,000,000	17,068,447,564	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
地方債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特殊債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
普通社債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	17,100,000,000	17,068,447,564	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%

■債券の格付分布

格付種類	比率
AAA格	0.0%
AA格	0.0%
A格	2.8%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

■短期金融商品(CP・CD)の格付分布

格付種類	比率
A－1格	0.0%
A－2格	0.0%
A－3格	0.0%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。・平均残存日数は組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・変動利付債の残存日数は、次回利払日までとして計算しています。・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。